

マジカル★スイーツ
MagicalSweet



恐怖！妖怪肉便器
ボクはきみの肉便器



恐怖！妖怪肉便器
ボクはきみの肉便器

マジカル☆スウィート

やっばりいいなあ
女の子が襲われるのは

ぼくは女の子が襲われ自分の意志とは関係なく
無理矢理されるシチュエーションが好きで
その手の画像ばかり見ている

・・ひとりエッチでもしようか
でもその前にトイレといれ

トイレの扉を開けるぼく
だがそこにあつたのはトイレではなく
見たこともない古い部屋が広がっていた・・

どこだここは？
ぼくはいつたい・・

おそろしくなりその場から逃げようと思っても
トイレのドアはない
いや、出口が見当たらない

ここは・・どこなんだ！

ここはボクの家だよ

だれ？
誰なの？

不安でいつぱいのぼくが
声かした背後を振り向くと
そこには・・





はぐき

はぐみ

どうした？
まるでバケモノでも見たみたいに驚いて

まあ、合ってるんだけど
信じてるんだ……

は「ま」
に「ぐん」



はくまはくま
はくまはくま

きみは誰？
誰なの？

ボクは肉便器
きみたち人間が俗にいう妖怪

にくごいなまべんき？

すごいなまべんき？

個性的なお名前ですね
(脚にも名前書いてあるってすげー)

いいよ気にしなくても
ふざけた名前なのは自分が一番わかってるから
それよりきみ

怖がつてくるくせに
ちやんとおつきくなってるんだね
男の子が

は「ま」
は「ま」
は「ま」

そんな大きな声ださなくてもいいよ
まじめなんだね
それに正直
でも正直なのはいいことだよ
ボクは正直な子
好きだよ



そーい、やきみ
おトイレに行こうとしてたよね
まだおトイレに行きたい？

は「ま」
は「ま」
は「ま」

いえ、あの

どうしたの震えて？
わたしがおトイレに連れていってあげる
大丈夫よ震えなくても

もっと寝えることができない
おトイレだから



おしちぶり
しょうじま

ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
♪♪



にあ、あの！
にくべんまさんー

ほほ！
ほく！
うづうづー

おしやぶ
しょうじ

ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ

おしやぶ
しょうじ

ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ

ボクのお口はおトイしだよ
気にしないでいっばい出して

おしちぶら
しょうじょ

おしちぶら
しょうじょ





おしきぶ
しやうじや

うしろとうしろと
うしろと

ふふっ！
いっぱい出したみたいね
ボクのおトイし
きもちよかつた？

はい！
最高です！

最高じゃないよ
この変態

す、すいません

それではボクは帰ります
きみがまたおトイレに行きたくなったら現れるかも
なんてね



え！
肉便器さん！

その場から消えてしまった肉便器さん
元に戻るほくの部屋
今のはいつたい・・・

夢？

いやそんなはずはない
たしかにぼくは肉便器さんと逢って・・・

あれ？急に力が・・・

その後眠ってしまい、気づいたら朝だった
学校に行く時間だ

学校に行っても肉便器さんのことばかり考えてなにも頭に入らない
肉便器さんに逢いたい
ほんの数分が数時間、数時間が数十時間に感じる時の流れ

やっと家に帰ってきたぼく
おトイレを開ける！

だがそこには肉便器さんはいなかった・・・

そうだよな・・・
こんな彼女なんかもできたことがない
暗い青春をおくつているおとなしいだけが
取り柄の奴のところには妖怪とはいえない
かわいなお口の女の子が現れるなんて
しかもお口でしてくれるなんて
ありえないよなあ

ははは
ははは

自分を現実的に見つめ
ぼくは毎日の日課だつた一人エツ子をはじめ
自分を慰めようとする

大好きな襲われている女の子の姿を想像して

はあはあ
はあはあ

もう少しでいきそ・・・

そのときだつた

もういきそう？

だれこの声は！
まさか！

一人でいくんだ

に、肉便器さん！



いえあのこれはですね
そのあの・・・

なぜボクにそんなことというの
勝手にしていいのに



そうなんだけどお口でやってもらったから
悪いなあと・・・

ふうん
きみっもおもしろいね

・男の子はいろいろの好きだよね
女の子は……
まあ別にいいや
ボクにはどうでもいいことだし

(あれ？なせ言いかけてやめたんだらう……)

さてと
さあいまはどう？
おトイレに行きたい？

は、はい……

そう
じゃあ今日も
いっぱい出せるおトイレに
案内してあげる

おしきぶら
しやうじや

おしきぶら
しやうじや

おしきぶら
しやうじや



ほくもうだめっ！



おしちひ
しちひ



おしちひ
しちひ

おしちひ
しちひ

肉便器さん！
すごいっす！
すばいっす！
すばいっす！

おしおびり
しょうぢ

コメコメ
ゆるゆるゆる



さあ次はお世話になったおトイしを掃除しようか





きみの使ったおトイしを




あざらけさあ



に、肉便器さん！
ほ！ほく！

どうしたの震えて？

女の子のもの
見たのはじめて！



そうなんだ
それはうれしいよ
きみがはじめて見たオマンコがボクで



(そうきみが見る最初のオマンコ)
(そして・・・)



(最後のオマンコになるのさ)



ほ、ぼくやっただことないから
もし間違ったらごめんね

うんいいよ
そんなこと気にしないから

きみの好きなように
ぼくのオマンコをまねいまして

そ、それでは・・・







そうそうその調子
その舌の動きでいいよ

なめなめ
くりちゃん

おやあやあや



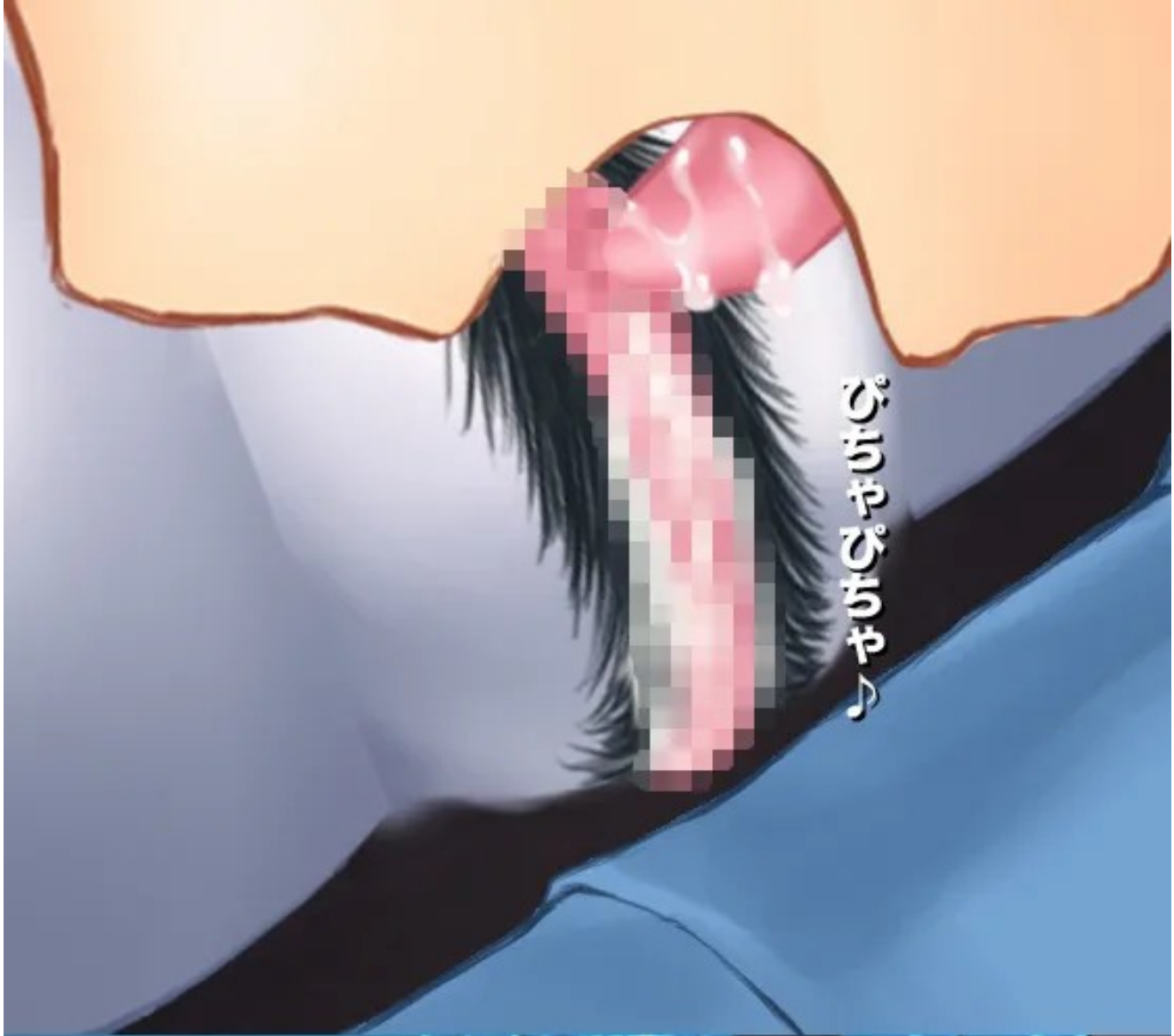
舌の動きでボクを
おトイしをきれいにして

おやあやあや

ああんっ!
ボクのくりちゃんっ!
くりちゃんきもちいいっ!

なめなめ
くりちゃん

くりちゃん



ああんっ!



ああんっ!



いっつちやうたあ〜！



いっつちやうたあ〜！

ああんつ!
オマンコから出てるの
きもちいい!
きもちいい!

あはあんつ!!

なめなめ
くりちゃん

びちやぴちや♪





ないけたぞ
かなかよかったぞ
……どうした？

笑顔みせてくれたのはじめてだから

そういうことが
どうだボクの笑顔
かわいいか？



すごくかわいいよ！

そうだろうそうだろう
だってこの笑顔は今から
素敵なきっかけから
喜びだから

素敵なこと？

それはいつたいどんな・・・

ああそうだ


どうした？
なにかあったのか？

は「ま」
は「ま」

「このイメー
ジは！
まさかこの
義女さん
きみ、肉便
器さん
く、く、
苦しむよ
苦しむよ」

「……そう
苦しむ
苦しむ
苦しむ
苦しむ」

「……」



そうさその護われている被害者
それはボクさ
おまえたち汚い男の犠牲になったボク
おまえたち汚い男は死んでしまえ！
苦しんで苦しんで後悔して
死んでしまえ！

•••
ななせ死なないんだ!
•••

おかしい
こんなことはいままで一度も
•••おまえ
•••
泣いているのか?

はっはっ
はっはっ

は「おれ
は」
「おれ
は」

きみ被害者たつたんだね
汚い男の犠牲になつた
被害者たつたんだね

ぼくはそんなことも知らず
ごめん
ぼくはごいつぢやないけど
同じ男としてごめん

おまえ……

肉便器さん！

だが彼女は姿を消した

頭に広がるイメージ

それは一人の女の子が男に無理矢理襲われているイメージ

泣きながら

悲鳴をあげる女の子

それが、それが

肉便器さん

いや正式には人間の姿の肉便器さんだった

人間の姿の・・・肉便器さん・・・

あれから何日
いや何週間が過ぎただろう
あの娘と過ごしたのはたったの2日だというのに
その2日かものすこく尊く
愛しい日々だったことに気づく

肉便器さん・・・
いつたいいまどうしているのだろう

ぼくは彼女に申し訳なく思ったのか
あれだけ大好きだった女の子の裏われている画像をすべて捨てた
もう見るのも嫌だ

ぼくは最低だ
女の子が嫌がるのが好きだったなんて

ぼくは最低だ！
男であるぼくは最低だ！

そうだおまえは最低だ





肉に！
よ便器さん！
心配したんだよ

ハハハ
ハハハ



あの・・・ごめん

なぜあやまるの？

いやその・・・
肉便器さんの気持ちも考えないで

あんな・・・
あんな最低なものが好きだったなんて・・・

・・・



妖怪になつたボクは憎い男の命を奪い続けた
皮肉なことにもその方法はずいぶん使つた
本当はきみの命も奪うつもり、クの身体を使つた
ただ、キミの命は奪えなかつた、いや奪いたかつた
ボクのため泣いてくれたから・・・

ねえお願いがあるんだけど
ボクをきみの本当の肉便器に
してくれないかな
きみの肉便器になつて、嫌な
ことを忘れたいかな
いや忘れさせて欲しいんだ

……本当にそれでいいの？

ああ、いいよ
ボクはもう人間じゃないんだ
妖怪、肉便器なんだ
そうやって生きるしかないんだ
それならばせめてボクのため
に泣ける
きみの肉便器になりたい

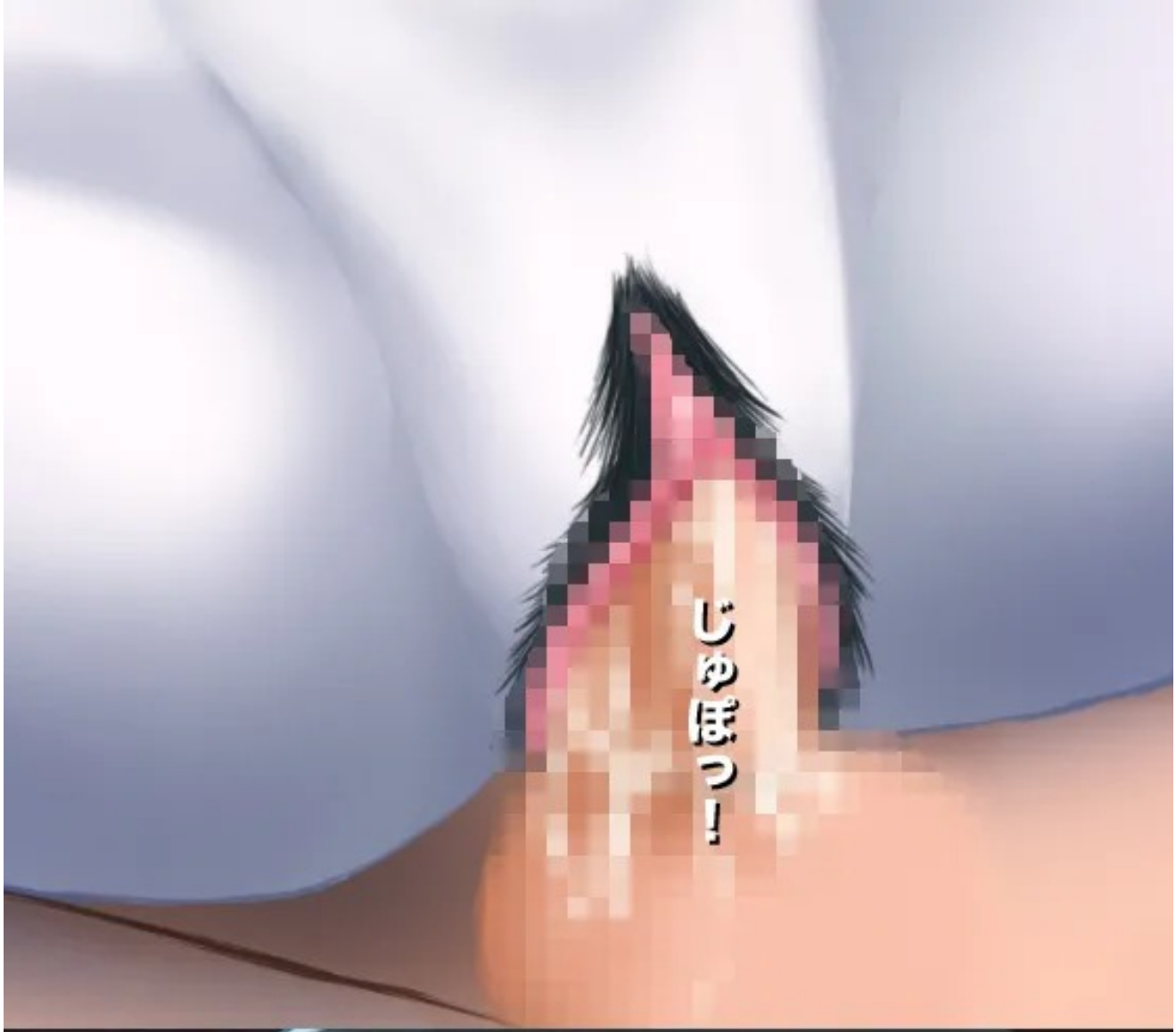
……肉便器さん……



ぼ、ぼくやったことないから
うまくできなかつたら
ごめんね・・・

気にしなくていいよ
きみはただそのまま
ボクの動きに合わせてくれたら

きみはただボクの中を



きみでいっぱいにして!!
ポクの中を
きみでっ!!
きみでっ!!
いっばいにしてえ〜!!

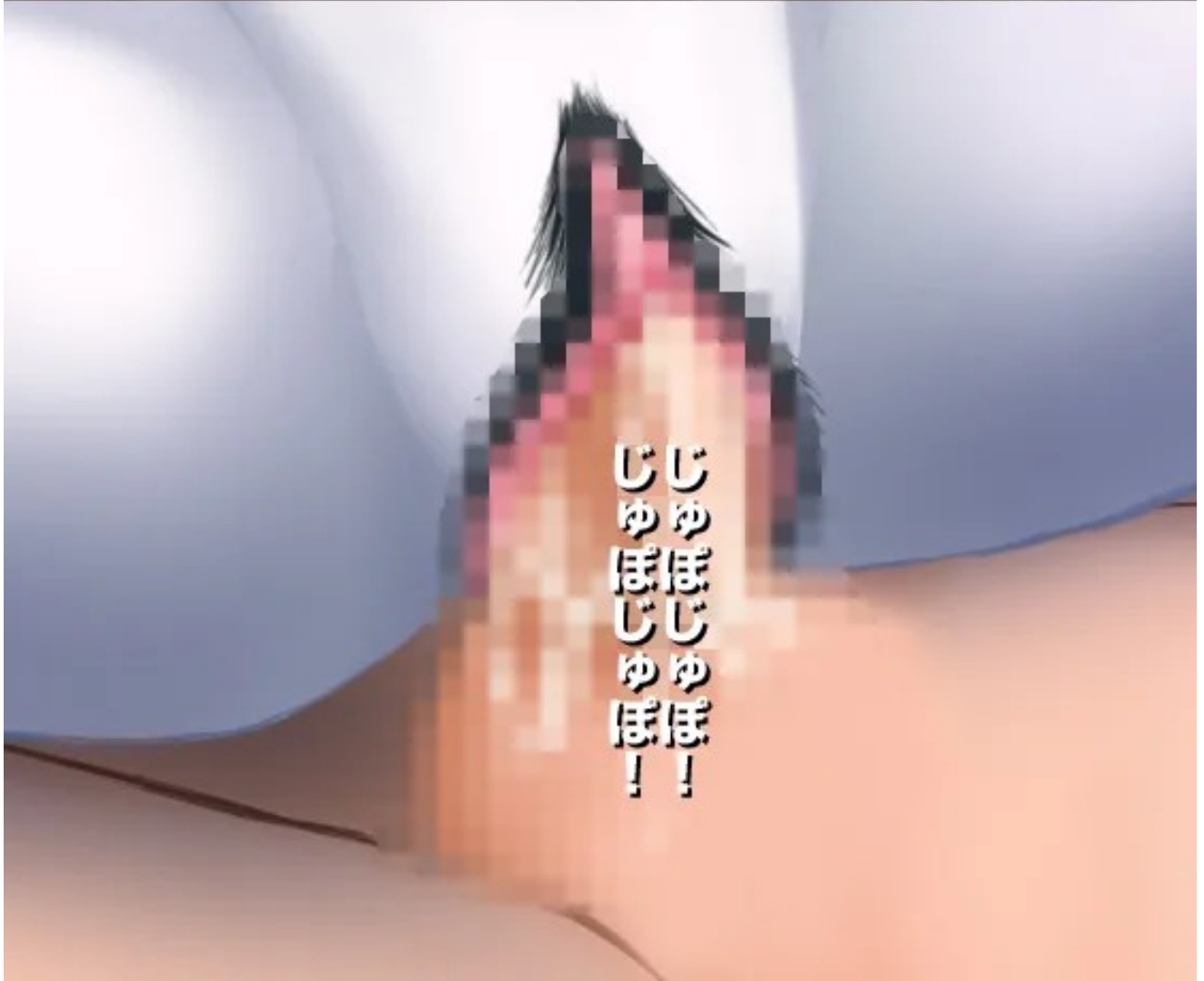
じゅぽじゅぽ!!
じゅぽじゅぽ!!





あ
ん
あ
ん
っ
っ
!!

じ
ゅ
ぽ
じ
ゅ
ぽ
!!



じ
ゅ
ぽ
じ
ゅ
ぽ
!!



に、肉便器さん！
ほ、ほくもう！
ほくもういきそう！

いよいよお！
ポクもいっちやうっ！
ポクもいっちやうっ！



ポクのおまんこっ！
いっちやうっ！

じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！

いっしょに遊ぼうよー

おまんこ

おまんこ だい

じゅぽじゅぽ



ポ、ポクのおマンコがっ！
も、もう限界と声をだしてっ！
ああ、んっ！
もうげ、げんかいつ！
ポクのおマンコげんかいつ！
ポクのおマンコいつ！
いいいいいい！！
いいいい！！
おマンコいつくきうきう！！

じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！



いっっちゃったあ〜!!
ポクのオマンコっ!
オマンコいっっちゃったあ〜!!

おまんこ だいすき



あ〜んっ!
オマンコから出すの
きもちいいっ!
ポクの出してるオマンコっ!
きもちいいいっ!
ほ、ほくももきだめ!

きもちいいいっ!
きもちいいいっ!



いやあ〜！
やめてっ！
やめてえ〜！

汚されるボク
これは夢だ
悪い夢だ
そう・・・悪い夢

だけど
悪い夢ではなかった
現実・・・
悪夢よりひどい現実・・・



どうしたの？
やっぱりつらいこと……
思い出しちゃった……

ううん
大丈夫きにしなないで

きみは気にしないでボクを

自分の好きなようにして
きみが大好きな女の子が
養われる


・無理矢理おそれるやつ
・無理矢理おそれるやつ

それを浮かべたいよ
してくたらいよ

肉便器さん……
それでいいの？

ああいよいよ
ボクをきみの肉便器にして

うんき
はく
はく



ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを
ボクがいついっばいボクを



肉便器になれるぐらいに

女の子を無理矢理襲うのが
好きなんだよ
いいんだよ
いいんだよ
いいんだよ
いいんだよ
いいんだよ
いいんだよ
いいんだよ
いいんだよ
いいんだよ

上半身と下半身は別だもんね
さあボクを
ボクの中をきみていっばいにして

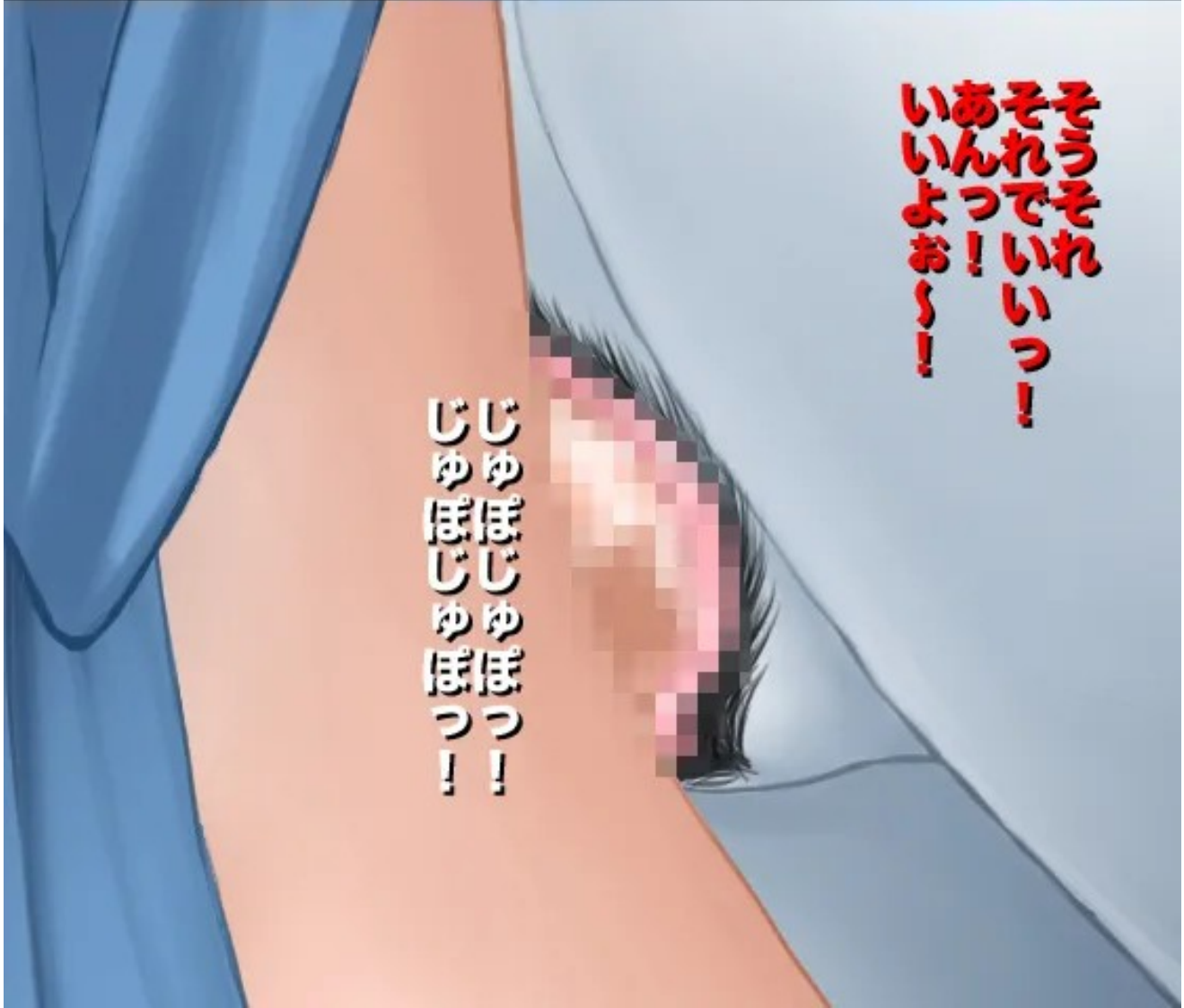


じゅぽん





ああんっ！



そうそれいっ！
それでいっ！
あんよおっ！
いんよおっ！

じゅぽじゅぽっ！
じゅぽじゅぽっ！



きみはきみの好きな
女の子の姿を想像して

ポクをっ！
このポクをっ！

きみのため！
きみのため！

にく、にく！
肉便器にしてっ！

すべてを！
すべてを忘れる

忘れ去るためにっ！

なかだし
にくべんきの
おまんこちゃん

じゅぽじゅぽっ！
じゅぽじゅぽっ！

うんわかつたよ！
ほくの肉便器さんを
ほくの肉便器下
しほくの肉便器下
てくあけるね！

ああんっ！！
ああんっ！！

なかだし
にくべんまの
おまんこちゃん

じゅぽじゅぽっ！！
じゅぽじゅぽっ！！

にくべん
おまんこ

じゅぽじゅぽっ！！
じゅぽじゅぽっ！！

ポ、ポクはきみの肉便器！

たい、さばい突いてっ！

ポ、ポクをきみの肉便器にっ！

真の肉便器にししっ！

してえ！

あ、あ、ん、きもちいいっ！

きもちいいっ！

もうだめっ！

ポクいつちやうっ！

肉便器いつちやうっ！

いつちやうっ！

オマンコいつちやうっ！

なかに
はくせん
おまんこ

じゅぽじゅぽっ！
じゅぽじゅぽっ！

なかにだし
にくべんきの
おまんにちゃん

ほくのー!
肉便器さあ〜んっ!

ぶわわぶわわわー
ぶわわぶわわわー
ぶわわぶわわわー

にくべんを
おまんこ

はは
ああ
はは
ああ

はは
ああ
はは
ああ

おまん

505
18



はよボボは
あくク、あ
は絞のボは
あまオクあ
つマの
てンコ
たどら？



なかだし
にくべんきの
おまんこちゃん

はよはは
あくいはあ
は絞まはあ
あつてたです



* ちかだし
にくべんきの
おまんこちゃん

ほに、
ほく、肉便器さん……

あ、あ、すま、ない
気がつかない
ポクオマンコが
よかつたみたい
ポクオマンコが
真肉便器にな
ふふ、ふふ、う
うれし、いぞ、

おまんこちゃん
にくべんきの
なかに



おまえのおかげですっかり肉便器になれたぞ
おまえもこんなかわいい娘を肉便器にできてしあわせだな
おまえが女の子が襲われる、無理矢理するのが好きでも別に気にすることはないぞ
上半身と下半身は別
本能だからな

実際に行動にでるのは最低だが
思っているだけは罪じゃない
だから気にするな

・・・肉便器さん・・・



ぼく肉便器さんを傷つけた奴を許せない！
そして同じ男としてぼくも許せない！
だけれど、だからこそ肉便器さんを大切にしたい
しあわせにしたい
ぼくまたまだ子供だけと勉強やいるいるがんばって
肉便器さんを必ずしあわせにする
だから、だからぼくのそばに
ぼくと一緒にずっといて欲しい

ハハハハ
ブクブク

のくせになに生憎氣いっでんの



こんな妖怪のことなんか忘れてしあわせになっ
てねばいばあうい

図解おとこ
.....

は「ま」
は「ま」
は「ま」

そうかい残すと肉便器さんは
どこかへ消えてしまった

傷ついでにほくが生意気いったからだ
余計きをつけてしまった
ほくは最低だ

そう何度も何度も自分を責め立てながら
いつの間にかほくは眠ってしまった
眼に涙を浮かべながら

・・・肉便器さん・・・



ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
♪♪



おしきぶし
しやうじや

しんしんしん

きんきんきん
きんきんきん



どうだ似合ってるだろ
かわいいいだるう
男はこういだるうの好きだときいたんでな
うれしいか

う、うわしいですー
でもどうして？
どうして今いかにして
しかもそんなかつぱり

ハ
マ
リ
ト
ク
ア
リ

きみボクとずっと一緒にいたいって言ったじゃないか
だから来てやったんだぞ
おまけに朝食も作ってやったんだぞ
いやか？



い、いやだなんてそんな！
うれしすぎです！

さあそれでは学校に出発だな
お父さんとお母さんに心配かけるんじゃないぞ
ごはん食べたら出発!

はい!
いただきます!
いただきます!
いただきます!
おいしいかったです!

いただきます



あ、あの・・・
なんだ？
帰ってきてもらってくれるよね？
当然だ
じゃあ帰ってきてからあれを・・・

あれってなんだ？
ですからおしやぶりとか、あれをそれとか・・・



は、はい！

なにちようしにのってんで
くだらないこと言ってるの
さつさと学校いきなさい！



ふんふん
驚いてねた

心配しなくても帰ってきたらしてあげます
もちろんボクのおマンコも使って

おひなさん

おひなさん



それじゃあしつかりと勉強してくるのよ！
ボクとずっと一緒にいたいんでしょ
がんばってね！

はい！
肉がは
便んは
器さん
なに？

はい！
肉がは
便んは
器さん
なに？

かわい
愛してるよ!!

なに
はあ
か

それど
おは
おは

ニ
ミ
ス
ス
ス

まったくのくせに
妖怪をからかっ
あんなちようにして大丈夫なのかな？



でも、でも
うれしかったよ
ボクのことを想ってくれて



肉便器だからっ！

ブルブル
ブルブル